

中富地区社協だより



発行：中川富岡地区社会福祉協議会 発行責任者：会長 鶴岡公一 編集責任者：広報部会長 多田啓三 連絡先 (0438) 63-3888

会長あいさつ



中富地区の皆様へ

このまして最も身近な社会福祉協議会は地域住民が主体となり組織されている任意団体であり、福祉のまちづくりの推進役です。中富地区社会福祉協議会は、自治会、民生・児童委員、自らの住む地域に関心を持ちボランティア活動に取り組み、地域に愛着を持っている方々などが事業推進委員となり、敬老会、見守り訪問事業、お花見風食会、ふれあいバスハイク、いきいきサロン、いきいき料理教室、広報誌、たんぽぽ通信発行などの活動に取り組んでいます。また、その他にも中川小学校でのボランティア活動、車椅子、アイマスク等の福祉体験学習時の見守りサポートのお手伝いをしています。このように中富地区社会福祉協議会は、地域福祉のための中核的役割を担う組織として、日々地域の交流の場づくりに取り組んでいます。

ふれあいバスハイクを実施

秋晴れの暖かい天候の一日を外に出て過ごすバスハイク。元気な高齢の方々と相撲博物館へ見学に行きました。テンツクテン、テンツクテンと音



の聞こえる櫓を横に、鬘を結ったお相撲さんも近くで散歩する博物館界隈は心も和むひと時でした。近くで美味しいお風御飯を頂き、帰り道、道の駅でお土産や買い物をして帰路に着きました。久しぶりのお友達との会話も弾み、「一年に一回のバスでの小旅行、来年もきつと元気で参加しようね」と話されていました。



中富地区敬老会が開催される！



去る令和6年9月16日の敬老の日に中富地区にお住いの満70歳以上の方々をお招きして第29回中富地区敬老会が平川交流センター(公民館)において開催され約200名の参加がありました。当日は天候も不順との予報で会場までの足元を心配しましたがどうやら雨にはならずそれぞれに楽しいひと時を過ごされたようです。午後一時の開演となり、まず中富地区社会福祉協議会会長の鶴岡公一会

長のあいさつ、来賓の袖ヶ浦市社会福祉協議会会長の小島直子会長のあいさつがありました。次に今年に金婚式



を迎える4組の夫婦の方々に記念品が会長からそれぞれに手渡されました。その後は恒例の最高齢の男女への記念品贈呈が行われていよいよ演芸に入りました。最初は平川中学校吹奏楽部8名による演奏で少子化で部活動も大変と伺いました。綺麗な音色の楽器は普段聞くこともない音色でゆっくりと鑑賞できました。次は高齢者に是非実施して欲しいと言われている健康体操を平川地区地域包括支援センター春名剛志さんの指導で体操をしました。普段あまり意識をしない「フレイル」予防を理解したようです。休憩の後は南京玉すだれを花田勝さんが演じてくれました。聞くところでは素人演芸ながら好きで続けてきたことで皆さんに披露できるまでになったと伺いました。ここで粕谷智浩市長が来賓として入場され、ごあいさつをいただき、市長には最後の抽選会の抽選までしていただきました。最後は袖ヶ浦高校生による演奏で締めくくられました。普段あまり聞くことの少ない演奏に何か「時代の匂い」を実感できる素晴らしいなあとと思う敬老会でした。



を迎える4組の夫婦の方々に記念品が会長からそれぞれに手渡されました。その後は恒例の最高齢の男女への記念品贈呈が行われていよいよ演芸に入りました。最初は平川中学校吹奏楽部8名による演奏で少子化で部活動も大変と伺いました。綺麗な音色の楽器は普段聞くこともない音色でゆっくりと鑑賞できました。次は高齢者に是非実施して欲しいと言われている健康体操を平川地区地域包括支援センター春名剛志さんの指導で体操をしました。普段あまり意識をしない「フレイル」予防を理解したようです。休憩の後は南京玉すだれを花田勝さんが演じてくれました。聞くところでは素人演芸ながら好きで続けてきたことで皆さんに披露できるまでになったと伺いました。ここで粕谷智浩市長が来賓として入場され、ごあいさつをいただき、市長には最後の抽選会の抽選までしていただきました。最後は袖ヶ浦高校生による演奏で締めくくられました。普段あまり聞くことの少ない演奏に何か「時代の匂い」を実感できる素晴らしいなあとと思う敬老会でした。



いきいき料理教室を開催



令和6年10月28日(日)富岡サフセ
ンターにおいて男
性3名女性15名の
参加による「いき
いき料理教室」が

開催されました。今回の料理のテーマは「高血圧の予防」でした。食生活改善推進員の指導のもとで減塩に重点を置いた野菜たっぷり春巻き・にんじんドレッシングのサラダ・根菜とおからのみそ汁・フルーツのヨーグルト和えのメニューに挑みました。和気あいあいと調理が進み、完成した料理を参加者全員で試食しました。ある女性参加者は「塩分を控えても、生姜を効かせることで味がしっかりして美味しかった」と感想を話されていました。健康寿命を延ばすために塩分の取り方を見直してみましよう。



いきいきサロンの開催



地区社協では「いきいきサロン」として各地区の公会堂等を会場に単身生活高齢者等の健康増進や団欒ふれあいの機会を増やし、いきいきと生活し続けられることを目的に「いきいきサロン」を行なっています。当日のサロンは中川駐在所の警察官や地域包括支援センター職員等により安全や安心の話し、健康体操、さらには芸達者な市民の余興で心も身体もリフレッシュしました。昨年11月27日には百目木公会堂で実施し、クイズや大道芸の皿回し、別の機会では尺八演奏、南京玉簾等も披露されます。外に出て久しぶりのお友達との会話も弾み、笑いあいのひときは、サロンの必要性を改めて実感している会場の雰囲気でした。



困気でした。

先進地視察研修を実施



去る令和6年11月15日(金)に令和6年度事業推進委員の先進地視察研修が南房総市を訪問して総勢25名の参加で実施されました。南房総市は旧安房郡富浦町、富山町、三好村、白浜町、千倉町、丸山町、和田町が平成16年3月20日に合併してできた市です。今回の研修地の南房総市では「ふれあいの居場所づくり支援(サロン活動)」として実施されている丸山地区の一軒の古民家を借用したサロンでした。サロンは「おたがい茶間(さま)カフェ」と称され野の花が飾られた心地よい会場でした。会議は報告、活発な質疑応答やその他多くの発言があり大いに中富社協の今後の活動に役立つ研修となりました。当日は生憎の小雨模様の日でしたが会場に溢れる人々による熱心な意見交換等で充実の研修会となりました。特に各



編集後記

地区でのリーダーが熱心に活動していることやリーダーを皆でサポートする活動が素晴らしいと思えました。子供たちの引きこもりと同じように大人の引きこもりを無くす運動のようであり我が中富地区社協の「いきいきサロン」運営の参考になると思われました。

里山の北からの冷たい風がゆるみ頬を伝う空気が少し和らいでいるような春待ち時です。横田の春は小櫃川の堤防の桜並木が大きくなつて国道409号線にかかる中川橋の山中区から阿部の富川橋まで咲き続く春爛漫な桜見物です。シーズンには堤防に出て桜鑑賞するのもよいものでは是非歩いてみてください。先日は山中区の中川橋の袂の河津桜が満開で見事でした。その後の堤防の染井吉野の満開が待ち遠しいです。ところで年2回の広報は事業を取材してから記事にするまでの時間が長く忘れることもあり苦勞します。今回もようやく発行ができました。

